

<2024年会員大会・会長挨拶>

皆様こんにちは。大阪代協会長の、新谷香代子でございます。

本日は、公私にご多忙な中、ご来賓の皆様を初め、大勢の方に、大阪代協会員大会にお集りいただき、本当にありがとうございます。心より御礼を申し上げます。

はじめに、今年元日に発生した能登半島地震によって、犠牲になった大勢の方へ、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

被災された方々、そして被災地が一日も早く平穏な日常を取り戻すことができますようお祈りしております。

現地で保険金支払業務に携わっておられる保険会社、代理店の皆様におかれましては並々ならぬご苦勞とお察し申し上げます。

そして、心からの敬意をお伝えしたいと存じます。

さて、私は、大阪代協の会長という立場になり、早くも1期2年が経過いたしました。

正会員数が800名を超える、全国最大規模の代協の会長という重みを、ひしひしと感じた2年間でした。

この会員の皆様の思いを背負いつつ、保険業界の発展を見据え、関係各所との連携を重ねていくことは、なかなか大変なことで

した。

それでも、会員の皆様の声を集約した提言を作成し、保険会社の皆様との意見交換会を設営させていただくなど、これまでにな
い成果も残せたと考えております。

皆さまも配信をご覧になっていると存じますが、3月26日から金融庁において

「損害保険業の 構造的課題と 競争のあり方に関する 有識者会議」が開催されています。

この会議では、昨年表面化した諸問題に端を発し、顧客本位の業務運営、経営体制の在り方がどうあるべきか、など、
関心の高い内容が掘り下げられています。

私たち代協も オブザーバーとしてその場に参加し、参加者が発言する際の、表情や、声のトーンを 生で感じ取ることができて
います。

全4回の終了後には、今後の対応策や、目指していく方向性などが取りまとめられるとと思われます。

開示可能な情報は、随時共有いたしますので、引き続き注目して参りましょう。

我が国は今後、人口が減少し、少子高齢化が一層進展すると言われております。

世代による価値観の違いや、労働力の確保など、経済活動における、たくさんの課題を抱えながらも、成長する、持続可能な社会への転換に向かって、お客様の関心が変化していることは ご承知の通りです。

保険業界に目を向け考えると、私たちも、提供する価値や業務品質を 積極的に高めながら、この複雑なリスクに取り巻かれた時代に、保険を通じて安心を求めるお客様の意向を 的確に捉え、私たちの仕事に結び付けていく、そういう更なる進化の時 を迎えていると言えます。

代理店が、これからも、お客様と保険会社の間で、重要な役割を果たせるよう、代協会員 全員が一体となって 挑戦を続けて参りましょう。

代協からの様々な発信についても関心をお寄せいただき、自社経営に活かしていただければ、と願っております。

結びになりますが、本日ご列席の皆様の 益々のご発展、ご健勝を ご祈念申し上げ、会員大会 開会のご挨拶とさせていただきます。 本日はどうぞよろしくお願いいたします。